

テーマ	新しい英語教育を生かした中学校英語の指導				
対象	小・中	使用言語	日本語	所要時間	90分程度
<p>概要</p> <p>新学習指導要領を生かしたより高度な英語での指導方法を模索していませんか？ このワークショップでは、新しい学習指導要領で示されている「英語による指導」を中心に、生徒が楽しめる授業をどのように作るのかを分かりやすく学べます。本学ではすべての授業を英語で実施しておりますので、そこでの指導から得られたノウハウをお伝えします。</p> <p>各学校や教育委員会の目的やニーズに応じて、ワークショップの内容は弾力的に変更可能です。以下は、これまでに実施したワークショップの例です。</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 50%;"> <p>『コミュニケーション型授業へ向けて』</p> <ol style="list-style-type: none"> 1：最近の英語教育政策 2：英語で授業を行う 3：英語の授業の実態 4：求められる英語の授業とは 5：サンプル・レッスン </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 50%;"> <p>『読むことの指導方法』</p> <ol style="list-style-type: none"> 1：Top-down vs. Bottom-up 2：MERRIER アプローチ 3：「読む」から「書く」への連携 4：文法・単語・表現の指導方法 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 50%;"> <p>『英語の授業作り』</p> <ol style="list-style-type: none"> 1：世界の英語教育の流れ 2：めあてと振り返りの重要性 3：Authenticity, Personalization, Creativity を生かした活動の配置 4：コミュニケーション型文法指導 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 50%;"> <p>『効果的なチーム・ティーチングに向けて』</p> <ol style="list-style-type: none"> 1：チーム・ティーチングの現状 2：JTE/ALT の強みを生かす 3：チーム・ティーチングの授業例 4：JTE/ALT の効果的な協働に向けて </div> </div>					
講師	町田智久（国際教養大学 専門職大学院 教授）				
<p>講師略歴</p> <p>米国イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校大学院修士課程（英語教授法専攻）及び、同博士課程（初等教育専攻）修了。博士。東京都の公立中学校で英語科教員として12年間勤務。東京都教職員研修センターで教員研修の実施に従事。留学し、帰国後から国際教養大学で教鞭をとる。2015年より現職。秋田県教育委員会を始め、全国の様々な自治体や企業と協働して、小学校及び中学校の英語教員研修を実施。TOEFL Primary® / TOEFL Junior® 公認トレーナー。小学校英語教育学会秋田県理事。国内外の学会で口頭発表するとともに、各学会のジャーナルで論文を発表。小・中学校英語の検定教科書『Blue Sky Elementary』及び『Blue Sky』（啓林館）の著者。著書に『The 6 Principles』（TESOL Publication：共著）、『児童英語教育の理論と実践』（センゲージラーニング：翻訳）、『小学校英語の考え方』（大修館出版）、『英語にぐーんと強くなる』（くもん出版）など多数。</p>					